

【保護者様からのご意見やご要望に対する回答】

本校の教育活動の取組に対して、温かい励ましの言葉や本校職員へのねぎらいの言葉も多くいただきました。今後の教育活動を推進していく上での大きな力となります。本当にありがとうございました。

また、ご意見やご要望につきましても、真摯に受け止め対応していきたいと考えております。個別のことにつきましては、それぞれの保護者様とお話をさせていただいております。全体に関するものにつきましては、以下のように回答をさせていただきましたのでご覧ください。

*いただいたご意見やご要望は一部、簡略化したり、同様なご意見についてはまとめたりして掲載していますのでご了解ください。

<保護者との連携に関すること>

◇時期を遅らせて行われた個別懇談ですが、やはり昨年のように新学期の初めにさせていただけると有り難いです。

⇒個別懇談については、年度初めの学級づくりや子どもづかみをきちんと行うという視点から来年度も6月以降の実施を考えています。但し、来年度は4月の授業参観後に学級懇談会を設定し、担任と経営方針や保護者の思いや願いを交流する場を設定したいと考えています。また、今年度もご心配なことなどは家庭確認の折に話をさせていただいた保護者様もみえます。ぜひ、その機会をご活用ください。

<子どもへの対応に関すること>

◇心のアンケートに悩みを書いたときは速やかに対応してほしいと思います。

⇒これまで心のアンケートをとって、個人の面談が終了してから情報を共有していた体制を見直し、心のアンケートから気になる事案については即座に組織として共有し対応していくことを共通理解しました。また、こうしたご意見を受け止め、夏休みには「いじめ対応」の研修を職員で行い、組織的な対応の在り方について学びました。

<子どもの姿に関すること>

◇挨拶に関しては驚くほどみんな消極的です。行き帰り、自発的に挨拶をする子どもはゼロに近いです。

◇年々、挨拶できない子が増えていると思います。

◇我が子も含め気持ちの良い挨拶を自らすすんでできるように家庭でも指導が必要かと思えます。

⇒登校時、児童玄関で教師や生活委員の前ではきちんとあいさつできる姿があります。しかし、校内や地域ですれちがったときの自然で自主的なあいさつについては、職員も大きな課題であるととらえています。こうした挨拶を高める取組を校内では生活部や児童の生活委員会を中心に取り組んでいきます。また、「進んで、自分から挨拶」を学校運営協議会やPTAと連携を図り取組を進めていきたいと考えています。

<子どもの安全に関すること>

◇川沿いをみんな歩いているので、もう少し早い判断をお願いします。

◇黒い雲が見えている時には学校で待たせた方が安心です。

◇大雨や雷の心配がある場合は、もう少し早めの下校やお迎えの連絡があるといい

⇒土岐川沿いにある学校ということに危機感をもち、子どもの安全を第一にした判断を心がけていきます。したがって、9月2日（金）のように警報発令前でもゲリラ豪雨がくる可能性が高いときは臨時の引き取りをお願いする場合もあります。コロナ禍ということもあり、しばらくは運動場に車を駐めていただき、各教室での引き取りになることもありますのでご了承ください。

◇自分の身は自分で守ることも意識できるようになるといいです。

⇒現在、学校運営協議会と連携して、防災マップづくりを子ども主体で行いたいと考えています。こうした場で自らの身の守り方について考えさせる指導を行っていきます。

◇炎天下での下校について、学校によって対応が異なることに疑問を感じました。

⇒文書にて通知しましたようにWBGT31℃を越えた場合については下がるまで待機という方針です。所在地によって数値は異なるため、学校ごとに対応が異なることもありご心配をおかけしました。WBGTが31℃近くまで上昇している場合は、必ず職員が巡回をするようにしていますので、ご承知ください。また、現在は運動場前アスファルトで計測をしていますが、複数の熱中症計で計測し、さらに正確に把握できるよう努めていきます。

<学校の施設や環境に関すること>

◇約3年前に3階廊下側の窓枠が外れ、地面に落下する事故がありました。その際、現地を確認し、教室ベランダには児童が出ない(ぞうきんを干すことは可)指導をしているとうかがいましたが、その指導が引き継がれていないことをたいへん残念に思いました。

⇒上記の事案については、職員会で全職員で共通理解をしました。また、黒板消しの掃除等ぞうきんを干す以外はいかなる場合もベランダに出ないことを確認しました。また、このようなことがありましたらすぐにお知らせいただければと思います。

◇快適に勉強ができるように、また先生方も快適にお仕事ができるように冷房の適切な使用をお願いしたい。

⇒各教室を巡回すると、教室ごとに室温が異なっていました。特に上の階に行くほどエアコンの効きがよくないです。職員会で教室内の室温チェックをこまめに行うこと、換気をしていることも踏まえて設定温度を低めにすることを共通理解しました。

<新型コロナウイルス感染症への対応に関すること>

◇普段からオンライン授業の提案、案内、説明がないので迅速に対応してもらえるのか分からず不安。

◇タブレットを休んだときにはどうしたらいいか不明。※予防とかでの休みの場合

⇒夏休み前のCOCOOでもお伝えしたように、陽性になったり濃厚接触者になったりして登校できない場合は、学校から連絡させていただき自宅待機中の学習について相談させていただきます。その際、タブレットでのオンラインの授業も可能ですし、タブレットの置き配もさせていただきますことがあります。但し、全ての授業をオンラインでつなぐことは難しい場合もありますのでご了承ください。また、今後に向けて家庭でのオンライン学習のガイドラインについても作成し、配付したいと考えております。

◇マスクの校内義務化というのはやめていただきたい。

◇熱中症や体調が優れないときにマスクを外すことの大切さを大人はもっともっと言い続ける必要がある。

⇒現在、学校では岐阜県教育委員会から出されている「新型コロナウイルス感染防止対策を踏まえた学校運営について」というガイドラインに基づいて教育活動を行っています。その中では、まだ屋内については自由化は認められておりませんのでご了承ください。また、運動時のマスクの脱着については特に低学年については具体的に声かけを行っていき熱中症にも対応していきたいと考えています。

<ICTや情報モラルに関すること>

◇学年懇談会やメディア(SNS)との付き合い方の講話があると安心します。

⇒タブレットやスマホ、ゲーム機器が当たり前の社会になり、適切な情報モラルについての意識を高めていくことは大きな課題です。今後の学級懇談会や学年懇談会で、ぜひ話題にしていきます。また、PTA母親部とも連携し保護者向けの講話を実施していきたいと考えています。さらに、児童については2学期以降、中学年以上での情報モラルに関わる授業を実施していきます。

<学習や授業に関すること>

◇プールの授業は専門の方をお願いできないでしょうか。

⇒今年度、土岐小のプールを釜戸小学校の児童も各学年2時間ずつ利用しました。2時間しか利用できないことから、釜戸小のように他校のプールを利用する学校のみ指導員がつきました。来年度は、全小学校に水泳の指導員をつけていただけるよう市へ要望しています。

◇普通の書き初め用紙のほうが勝手がよい。

⇒学習指導部で冬休み前に検討をさせていただきます。

<PTAの活動に関すること>

◇資源回収について、時代の変化と共に在り方ややり方を見直すことが必要なのではと思います。期間を決めての投げ込み式、ステーション式など、方法はいろいろあります。市での統一したのもあると思います。

◇PTA役員について、本当に必要な役目となくともやっつけていけるものを精選すべき。

⇒これらのご意見ご要望についてはPTA本部役員会に伝えさせていただきます。

<働き方改革に関すること>

◇中学校のように、教科担任制の推進を図ることで先生方の負担を少しでも軽減できないでしょうか。働き方改革には賛成しています。しかし、

⇒小学校では高学年では複数の教科で教科担任制を現在も取り入れ担任の負担の軽減と専門的な授業を受けられるようにしています。中・低学年においては、来年度早急にというわけにはいきませんが、学年担任制というかたちで、複数の教員でその該当学年の児童を担当することも考えていく方向です。

◇一生手元に残る通知表に「懇談で話しました」と記載されるのは残念。

⇒各学期の児童のよさや課題については、今後はキャリアパスポートを活用して、児童と担任、保護者様で記録を残して小中高と引き継いでいきたいと考えておりますので、ご理解のほど、よろしく申し上げます。

◇テストや通知表の細かい項目も通知表を付けるための参考資料と基本的になっているなら、数を減らしたり、見方をかえることなどで子どもたちと触れあい会話をしたりする時間が増やせるのではないか。

◇授業参観を減らしてもよい。また家庭訪問のかわりの家庭確認はあいさつなしでよいと思います。

⇒「子どもたちと向き合う時間を確保するため」に様々なご意見をありがとうございます。これらの意見を踏まえて、来年度の行事の編成を行っていきたいと思います。